

令和4年度 子ども総合センター「あいあい」  
利用者アンケート結果

新宿区立子ども総合センター  
子ども家庭支援課長 菊地 ゆみ  
(公印省略)

あいあいの療育に関するアンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。  
集計結果についてご報告いたします。

全体的にあいあいの活動内容について概ね良好であるというご回答をいただきました。  
感染拡大予防への対策を徹底し療育を行う中で、全ての方にご満足いただくことはとても難しいことではありますが、いただいたご意見を参考に、今後の取り組みに活かし、よりよい療育を提供できるよう努めていきます。

アンケートの集計結果とともに、今回いただいたご意見（抜粋）について回答させていただきます。

アンケートの実施状況

- ・対象：令和4年9月末時点でのサービス利用児
- ・対象サービス：児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援
- ・内訳

	対象数	回収数	回収率
児童発達支援	213	174	80%
放課後等デイサービス	4		
保育所等訪問支援	12	9	75%

- ・アンケート実施時期 令和4年10月24日～11月末

子ども総合センター 発達支援コーナー「あいあい」  
発達支援係長(児童発達支援管理責任者) 関根さゆり  
電話 03-3232-0679

令和4年度 子ども総合センター「あいあい」  
利用者アンケートご意見への対応

1 個別指導の支援の回数について

- 支援内容は満足しているが、頻度がもう少し多いと良いと思います。
- 子どもの人見知りがあるため、もう少し通所の間隔が狭くなったら（1か月に2回程度になれば）先生との距離も近くなるのではないかなと思います。
- 1回40分ではなく、2時間くらいだと嬉しいです。
  - ⇒ 新型コロナウイルス感染予防対策で換気消毒の時間を十分に確保するために、個別指導の提供はおひとりに月に1回として実施しています。
  - ⇒ 指導回数については、区内唯一の専門職が直接指導できる機関として、幅広くなるべく多くの方へ対応を行いたいと考えています。そのため、現対応の枠（1回40分、月1回程度）の拡大は難しいと考えています。区内や近郊には、民間の発達支援事業所もあります。頻度の多い療育をご希望の際は、相談担当にご相談下さい。民間事業所のリストなども用意しています。また、新型コロナウイルス感染症についての概念が今後変更されていく中で、コロナ禍前の指導回数（年中、年長児の個別指導を月2回程度）に戻すことについては、検討を行っていきます。
- 民間の療育に通っていることもあり、年に数回しか利用できないのが少し残念だった。
  - ⇒ 区内近郊には、民間で発達支援を行っている事業所があります。民間事業所は週1回程度の支援（療育）を行っているところが多く、また、事業所ごとに特色を生かした活動をしています。愛あいでは、民間事業所で週1回以上の支援（療育）を受けることができるようになったお子さん（個別指導、就園児グループ等利用児）は、民間事業所に移行することをお勧めしています。あいあいでの直接的な支援（療育）は終了となりますが、あいあいでは継続的に相談できる機関としてバックアップにまわります。保護者の同意があればお子さんが利用している民間事業所と連携を行うこともできます。不安やお困りの事があった際の相談などの対応は今後も行っていくしますので、ご安心ください。

2 保育所等訪問支援について

- 先生たちに具体的なアドバイスをさせていただいていると、園の先生から聞いています。
- コロナの影響で訪問保育が数か月中止になったのは、残念だった。
  - ⇒ 訪問先で感染が確認されたり、職員がり患したなどで、訪問が実施できないことがありました。状況によりあいあいに来所していただき、個別指導での代替対応や、電話で保護者への助言を行わせていただいています。コロナ禍での対応について、ご理解とご協力に感謝いたします。
- 家庭でもできる具体的な対応なども教えて欲しい。
  - ⇒ 園生活の中から、自宅や生活の中でも活用できるポイントなども一緒に考えていきます。

### 3 その他のご意見

- お友達ともう少し関われる機会を作ってほしい。

⇒ 感染予防対策のため、子ども同士で触れ合う活動は十分に行うことができませんでしたが、引き続き感染予防を行う中で感染状況などを見極め、活動の内容を見直していきます。

- 言語訓練をもう少し早い年齢から受けられると良い。

⇒ あいあいでは、ことばの基礎となる土台づくりを大切にしているため、低年齢のお子さんには親子でのグループ活動に参加していただいています。親子で活動する中で、子どもにとって楽しい！やりたい！という気持ちが、言葉や動きの発達を促す土台になると考えています。活動のねらいや意味などは、職員が丁寧に説明するよう努めていきます。

- 就学時に学校、園、教育委員会へ連携して欲しい。

- 就学後も切れ目なく支援が受けられることを望みます。

⇒ 就学時や就学後のサポートについては、保護者の同意を得たうえで、就学先との連携（個別支援計画の提供など）を行っています。また、就学と同時に直接の支援は終了となりますが、就学してからの困りごとや不安、サービス紹介など相談は、引き続き対応できますのでご活用ください。

### 4 職員への励まし

- いつも親身になって相談にのって頂き、心強いです。先生と子どものやり取りを見て、子どもが学校へあがった時、こういう場面で困るのかな、など家とは違う様子が見られて発見があります。
- 指導日以外にも、電話で相談できるので活用しています。
- 個別指導は短い時間ですが、本人に良い刺激になっているだけでなく、親のかかわりも改めて見直すことができ、親子ともども良い時間を過ごせています。
- いつも入口の季節にあった制作を子どもが楽しみにしています。
- 給食が毎回とっても美味しく、しかもそれぞれの子どもに合った形に細かくして下さっていていつも感謝しています！子どもも家より沢山食べてくれます。

アンケートの結果を、今後のあいあいの療育に活かしていきたいと思えます。  
ご協力ありがとうございました。